

たねやま種雄牛だより

Since 2004.4

岩手県農業研究センター畜産研究所種山畜産研究室 TEL: 0197-38-2312 FAX: 0197-38-2177

令和5年度 現場後代検定開始!!

今年度、現場後代検定を開始する「久隆照」の調査牛の幹旋会を4月7日、JA全農いわて県南家畜市場で開催しました。当日は、28頭の産子について、発育や「久隆照」の遺伝的特徴などを確認し、20頭を調査牛に選抜しました。

これら調査牛は、それぞれ肥育農場に引き渡され、去勢で29カ月齢、雌は32カ月齢まで約2年肥育されます。無事に出荷の日を迎え、素晴らしい枝肉に仕上がることを期待し、当室でも肥育管理に励んでいきます。

久隆照



繁殖者 一関市花泉町 佐々木久男 氏

1代祖	美津照重
2代祖	隆之国
3代祖	安福久
4代祖	百合茂
5代祖	安平

【期待育種価】

(R04.09 評価)

枝重	ロース	バラ	皮下	歩留	BMS
C	A	C	B	A	H

【ゲノム育種価】

(R04.05 評価)

枝重	ロース	バラ	皮下	歩留	BMS
B	A	B	C	A	H

ゲノム育種価で選抜された基礎雌牛「はなこのこ」に「美津照重」を交配して生産された本牛は、脂肪交雑のゲノム育種価が非常に高く、これまで判明している県有種雄牛中No.1を誇ります。

当室の今年度の体制について

今年度は、昆野勝 次長(前 畜産研究所家畜育種研究室長)、今野一之 室長(前 県庁畜産課特命課長)以下 11 名の職員により、産肉性及び種雄性に優れた種雄牛の造成に取り組んでまいります。

次長・昆野 勝より一言

日頃から、岩手県内の黒毛和種関係の皆様には、家畜改良増殖に御協力を賜り御礼申し上げます。種山畜産研究室では、「黒毛和種種雄牛の造成」と「凍結精液の安定供給」のため、黒毛和種の産肉能力検定及び県有種雄牛の利用促進を業務における主要課題として取り組んでいます。御存知のように、種雄牛造成は、皆様の御協力のもと、人工授精から種雄牛として供用されるまで足掛け6年を要する事業です。「行く行くは、県民全体の利益」と「すべてに一番になれる種雄牛造成」に努力して参ります。

室長・今野 一之より一言

全国和牛登録協会初代会長羽部義孝博士の言葉(下記)を心に留め種雄牛造成に取り組みます。よろしく申し上げます。

「和牛改良という仕事は己の一生を投入して何等悔いのない人でなければできないものでない。世俗的名誉、待遇や打算に関心をもつ者には和牛の仕事に一生をかけることはできない。打算に長ずるものは利口であるが信念がない。信念一途に生きんとする者、今日益々尠なしとする。かかる者こそ今後の和牛改良に尊重すべきである。」
出典：和牛説譜(羽部義孝先生顕彰会)



～種山の情報誌・SNSはこちらのQRコードからチェック～
←【たねやま種雄牛だより】【子牛市場成績】のバックナンバー
Facebook アカウント“いわて畜産振興ネット” →

